

【技術分類】 3－5－1 セントラル空調／試運転／全体試運転手順

【技術名称】 3－5－1－1 試運転調整手順

【技術内容】

総合試運転ではまず機器単体の運転を行い、その後最終的にシステム全体の調整を行う。

機器単体の運転では冷凍機や空調機などの機器について、付属機器および付属品の点検と確認、保護装置の作動確認、故障表示などの電気計装関係の確認を行う。次に、送風機系統の風量調整を行い、ポンプ系統の水量調整を行う。その後、各熱源の個別運転を行う。

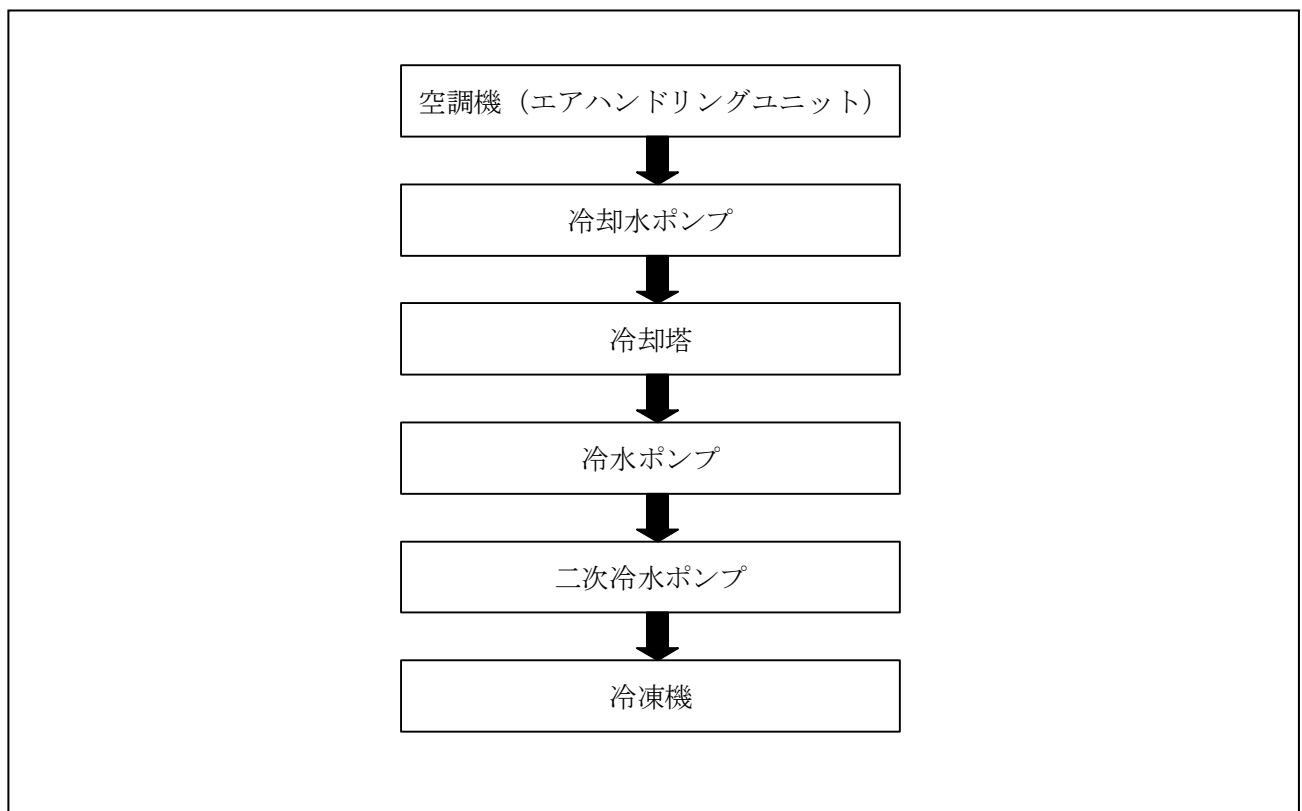
その上で全装置の総合試運転調整に入る。自動制御の最終調整も行う。各部の調整が完了したら、環境測定を行い、十分に性能が発揮されていることを確認する。

試運転も含め、各機器の運転順序は重要なポイントであり、多くの場合はインターロックで保護されている。冷房運転の運転順序は、空調機（エアハンドリングユニット）→冷却水ポンプ→冷却塔→冷水ポンプ→二次冷水ポンプ→冷凍機の順序であり、停止の場合はこの逆の順序にする。ボイラを使用する暖房運転の場合は、空調機→温水ポンプ→ボイラの順序である。

図 1 に運転順序の例として冷房運転の運転手順ブロック図を示す。また、図 2 に総合試運転調整の概略手順を示す。

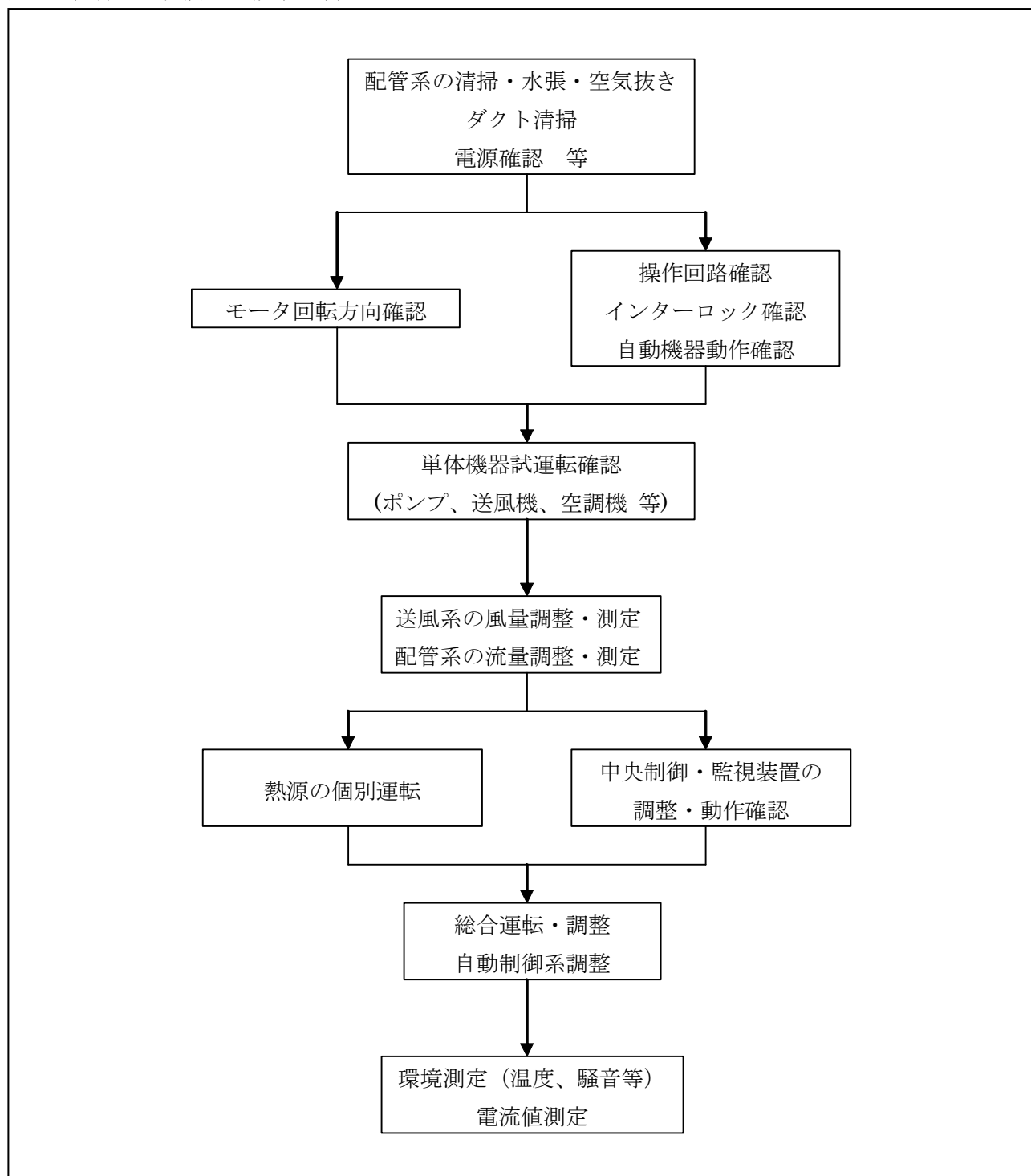
【 図 】

図 1 冷房運転の手順



出典：本標準技術集のために作成

図 2 総合試運転調整の概略手順



出典：本標準技術集のために作成

【出典／参考資料】

- ・空気調和・給排水設備 施工標準 第4版、2004年3月1日、社団法人建築設備技術者協会発行、379-380頁
- ・空気調和・給排水衛生設備 施工の実務の知識、2005年4月25日、株式会社オーム社発行、256-257頁